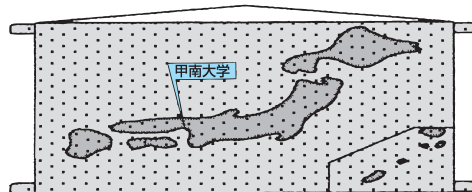


Zephyr

〈第59号〉

ゼフィール・にしかぜ


<http://www.kilc.konan-u.ac.jp>

《特集：宗教・風習にまつわる異文化理解》

★所長からのメッセージ：友人と食を共にするときに注意すべき事項	中村 典子	2
〔英 語〕西洋人と Bible、日本人と Bushido: The Soul of Japan	中村 耕二	3
〔ド イ ツ 語〕ドイツの結婚式：社会的な意味と宗教的な意味	藤原 三枝子	4
〔フ ラ ン ス 語〕フランスの宗教事情	ディディエ・シッシュ	5
〔中 国 語〕文化使者としての隠元禅師	胡 金定	6
〔韓 国 語〕宗教・風習にまつわる韓国文化の理解	金 泰虎	7
〔日 本 語〕ハラームと足を洗う習慣	谷守 正寛	8
・各種語学検定試験の受験料補助について		9
・外国語科目・日本語科目優秀賞制度についてのお知らせ		9
・2015 年度甲南大学海外語学講座Ⅰ・Ⅱのご案内		10
・iCALL 教室のご案内		12

甲南学園創設者

平生鈞三郎

「世界に通用する

紳士・淑女たれ」

「英語＋1（第2外国語）」
教育プログラム

「使える外国語教育」

国際言語文化センター機関紙（年3回刊行）

Culture and Religion

I often hear Japanese people say, "We Japanese are not religious." Many western people say the same thing. It is true that in many modern countries, the numbers of actively religious people are decreasing. However, experts say that even people who are not religious are still strongly influenced by their religious roots. In other words, the cultural values of people in modern western cultures are still related to Christianity, just as the cultural values of modern Japanese are still related to the Shinto and Buddhist roots of Japanese culture. Therefore, learning about a country's religion is very helpful for understanding the culture of that country. How can one learn about another country's religion? A good starting point is the history of the cultural festivals and holidays of that country. For example, if you research the history of Halloween or Christmas, you will see that these special days have very religious roots, and you will learn something about the connection between religion and modern western culture.

(Stanley KIRK)

友人と食を共にするときに注意すべき事項

国際言語文化センター所長 中 村 典 子

海外から来た友人を自宅での食事に招いたり、知人と一緒に外食したりする機会は、交友関係の広がりと共に増えます。友人や知人の信仰している宗教が何であるか、と直接尋ねることは、タブーとは言わないまでも、避けるべきことです。ところが、友人と食を共にするとき、宗教ごとに配慮しなければならない事項があるのです。

1) 豚肉はもちろん、豚のエキスが入っている料理も食べてはいけないイスラム教徒

今年の8月、カナダのニュー・ブランズウィック州のモンクトン大学（Université de Moncton）のエドモンストン（Edmundston）キャンパスで開かれたアカディア（Acadie）の学会に参加しました（エドモンストンは人口の9割がフランス語母語話者）。そこで、モロッコ出身の女性研究者で、言語学に関する博士論文をパリ第4大学で書いた後、カナダのモンクトン大学の教授になっているSさんと非常に親しくなりました。彼女の姪御さんたちと一緒に、アカディアのお祭りの一環として、町の人たちの手作りのオードブルを食べる会に参加しました。その際、Sさんが、姪たちに「これは駄目、あれも駄目」と注意していたので、彼女たちがイスラム教徒だと分かりました。イスラム教徒は、豚肉はもちろん、ベーコンやハムも、豚のエキスやラードが使用されたオードブルも食べてはならないのです。



カナダ東部のアカディアのお祭りでの手作りオードブル

2) イスラム教徒にとってのハラール（Halāl）

イスラム教の教義で食することを認められた食品を「ハラール」または「ハラル」と呼びます。牛肉であっても、解体処理がイスラム教徒によって行われ、血を抜いた肉でないと「ハラール」ではないのです。ですから、海外から来た（イスラム教徒かもしれない）友人に、いきなり豚骨ラーメンや肉じゃがを勧めてはいけません。また、アルコールは（世俗主義のトルコ以外では）一般に禁止です。醤油等の調味料でも、製造過程でアルコールを使ったものは「ハラール」ではありません。日本にもイスラム教徒の留学生や観光客が増えており、「ハラール」の食品を製造・販売する食品会社やレストランが都会では漸増し、20以上の大学の生協食堂で「ハラール・メニュー」が提供されています。

3) 宗教・風習上の食の禁忌に注意することが異文化を持つ人々への配慮

世界の人口の3割強がキリスト教徒、2割強がイスラム教徒、1割強がヒンズー教徒だと言われますが、ユダヤ教徒が食べても良いものは「カーシェール」（Kasher）「コーシェル」（Kosher）と呼ばれ、豚はタブー、牛肉と乳製品を同時に取るのも禁止ですが、アルコールはOK。ヒンズー教徒にとって、聖なる牛を食することなどは論外。結局、問題のない肉は、鶏肉か羊肉（ただし、適切な処理が施された肉）でしょう。

海外から来た友人と食を共にするときは、「食べられないものは何か？」と事前に聞くことが不可欠で、料理に何が含まれているか、説明できるように努めるのが異文化理解の第一歩です。

西洋人と Bible、日本人と Bushido: The Soul of Japan

国際言語文化センター教授 中 村 耕 二

人間と動物との違いは埋葬習慣と宗教心です。人類史の中で、大自然の驚異に畏怖の念を抱いた時、苦しみが限界に達した時、人間は自らを超越する神の存在を求め、神の御業に人間の苦悩を委ねました。西洋人は旧約聖書モーゼの十戒で自らの行動を戒めてきました。キリスト教では、人間には原罪 (sin) があるため、その欲望を規制する法が必要です。旧約聖書によると預言者モーゼの十戒は次のように語ります。1. 主が唯一の神であること 2. 偶像を崇拝しないこと 3. 神の名をみだりに唱えないこと 4. 安息日を守ること 5. 父母を敬うこと 6. 人を殺してはいけないこと 7. 姦淫をしてはいけないこと 8. 盗んではいけないこと 9. 偽証してはいけないこと 10. 隣人の家をむさぼってはいけないこと。以上の十の戒めが西洋人の倫理観に大きく影響してきました。

また、新約聖書の愛の賛歌と言われるコリント人への手紙（第 13 章）により愛を育んできました。聖書は語ります。「**愛は寛容であり、愛は情深い、愛は妬むことをしない。愛は高ぶらない、誇らない、愛は不作法をしない。愛は自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。愛は不義を喜ばないで真理を喜ぶ。そして、愛はすべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。このように、いつまでも存続するものは、信仰と希望と愛三つである。この中で最も大切なものは、愛である。**」この愛の賛歌はダイアナ妃の葬儀でブレア首相が引用した部分です。聖書は人間の倫理観を育むと共に愛の力も育んできました。

それでは日本人の倫理観はどこから生まれたのでしょうか。日本には一神教にみられる超越神が存在しません。日本人には「天子への忠誠」「祖先への敬意」「親への孝行」という神道があります。また「般若」という悟りの智慧や「大悲」という広大な慈悲の心を希求し、永遠なるものを諦め、無常を悟ることにより、現世の俗事から解放されるという禅仏教があります。さらに「仁」「義」「礼」を重んじる儒教精神を中国から学びました。孟子は「仁は人の心であり、義は人の道である」と我々に教えてくれます。武士道は武士だけの教えではなく、一般庶民にも影響し、日本人の倫理観を育んできたのです。

武士の家に生まれた新渡戸稲造は、元国際連盟の事務次長として世界平和のために活躍し、国連の星と言われました。彼は米国人メアリーと結婚して、キリスト教信者になった人物です。西洋人の聖書に対して、日本人の倫理観を形成する源は武士道精神であるという答を見出し、英語で *Bushido: The Soul of Japan* を著したのです。新渡戸は武士道の中で次のようにキリスト教との関連を述べています。「人生観が広がり、民主主義が成長し、他の民族や国家への知識が深まると共に、孔子の仁の教え、それに仏教の慈悲の教えも加えてよいだろうが、これはキリスト教の愛の観念へとつながっていくだろう。」武士道の中で、「仁」という人間の愛についてもキリスト教の愛と関連させて論じているのです。*Bushido* はルーズベルト大統領、エジソン、トム・クルーズの愛読書になりました。

Bushido が米国で出版されてから 114 年が過ぎ、世界はグローバル化に翻弄され、自文化のアイデンティティの喪失に苦しみ、格差が拡大し、民族や宗教の対立も一向に減りません。20 世紀の戦争の教訓を深く顧みることなく、21 世紀になっても拙速な武力行使に伴う紛争が絶えません。今、世界は過去の叡智であるモーゼの十戒やコリント人への手紙における愛の力を必要としています。また日本人が日本人でなくなっていく昨今、武士道が示す**義・勇・仁・名誉・礼・忠義・誠**などの大和魂の復権が求められます。人間は国籍、文化、宗教を異にしても、それぞれの民族の神に対する畏敬の念を忘れてはいけません。争う前に自らを戒め、キリスト教の寛容で情深い「愛」、禅仏教の「慈悲」、そして武士道の「仁」について再考する時ではないでしょうか。

ドイツの結婚式：社会的な意味と宗教的な意味

国際言語文化センター教授 藤 原 三枝子

宗教的にも風習としても興味深いテーマに、ドイツの結婚式があります。ドイツ語で結婚のことを Hochzeit (ホッホツァイト) と言います。人生で「最高のとき」という意味でしょう。「ドイツでは二通りの結婚式を行うことができる」、と聞くと驚かれるかもしれません。ひとつは、役所(戸籍局)で行う、社会的・法律的な契約としての儀式と、もう一つは教会で行う、神に対する誓いという意味での儀式です。どちらの結婚式でも、「生涯、夫婦であること」、「唯一の相手であること」についての問いに「はい」と答えることで、結婚が成立します。この意思確認の後、役所の場合には、戸籍担当官が「法に則り」二人の婚姻が成立したこと、教会では聖職者が、「神の前で」二人が夫婦となったことを宣言します。役所の結婚式では、この後、新郎新婦が書類に署名します。結婚により姓を変えた場合には、新しい名前での初めての署名となります。



新婦が結婚式で身につけた方がよいと言われるものに、「古い物、新しい物、借りた物、青い物」があります。これは、どうもドイツに限らない風習のようですが、新婦のこれからの幸福を願い、「古い物」は、新婦のこれまでの生活、祖先とのつながりを表すもの、「新しい物」は、希望に満ちた生活への期待を込めて、「借りた物」は、すでに結婚している人の幸福が新しい夫婦にも訪れるように、最後の「青い物」の青には、純粋さや誠実さを象徴する色という意味合いがあるようです。もっともこうした風習についてあまり知らない人も多いようです。



結婚式の贈り物も日本とはかなり異なります。日本では、お祝いとして現金を贈ることが一般的ですが、ドイツでは、新生活に必要なものを新郎新婦があらかじめリストアップして、その希望に沿ったプレゼントを準備する人が多いと聞きます。たとえばプレゼントの調整係を引き受けた友人に、まだ贈り手が決まっていない品物を問い合わせる自分の品物を選ぶこともあります。ドイツでは、結婚のプレゼントに限らず、この方法をとることがよくあります。私の友人の60才の誕生日にも、欲しい物リストが回ってきて、友人が取りまとめてくれました。何人かで希望の食器をプレゼントしましたが、とても喜んで使ってくれています。

結婚式後のお祝いでは、日本のようなお色直しはありません。招いた親しい人たちと、楽しい時間を過ごすことが目的だからです。食事やダンスをしながら夜中までお祝いが続くこともあります。

さて、結婚式前に行う、ドイツ独特の縁起担ぎの風習として、「ポルター・アーベント」があります。これは結婚式前夜に、新婦の家の前に、人々がわざと古い陶器や皿を粉々に割り、あちらこちらに散らかすのですが、それを新郎新婦となる二人が箒で片付けます。これから始まる結婚生活での最初の共同作業の意味もあるようです。ハインリヒ・ハイネは Die Ehe ist eine stürmische See, wofür es noch keinen Kompaß gibt. (結婚とは荒海である。そのための羅針盤はまだない) と語っていますが、「問題が起こったとき、進むべき道を示してくれるような羅針盤はない。船が沈没しないように、夫婦で力を合わせて荒波を乗り越えていくしかない」という意味でしょう。この風習には、割れる時にでる大きな音によって悪霊を追い払うことができるという、お祓いの意味もあります。日常生活でも、お皿などを割ってしまうと、Scherben bringen Glück. (破片が幸運をもたらす) と言って、慰めてくれます。こうした結婚のあり方は、近年ドイツでもかなり変わってきているようです。

(写真は、Ebenhausen のカトリック教会での結婚式：高松平蔵氏より提供)

différentes cultures フランスの宗教事情

国際言語文化センター教授 ディディエ・シッシュ

フランスの文化をより良く知るためには、宗教の重要性について意識するべきだと言えます。5世紀の末に、フランク族王朝の創設者クロヴィスが、キリスト教に改宗した時から、フランスは、la fille aînée de l'église「教会の長女」だと言われてきました。中世のフランスにおいては、宗教は王国のアイデンティティーの柱でした。現在、世界中の観光客が訪れるモン・サン・ミ歇尔またはノートル・ダム大聖堂などは、この「信仰の時代」の象徴的な遺産です。ところが、16世紀に宗教戦争が起き、モンテーニュなどの知識人の間に、異教徒を迫害する宗教に対する深い疑いが生まれました。同時代のフランス王アンリ4世は、1598年、「ナントの勅令」で、プロテスタントに信仰の自由を与え、宗教から独立した王国を創設しました。この体制こそが、近代フランスの **Etat laïque (政教分離国家)** の先駆けとなりました。

18世紀の末まで、フランスの国教はカトリック教でした。しかし、啓蒙思想家（ヴォルテール、ルソー、ディドロなど）の影響で、宗教への批判が激しくなりました。フランス革命までの旧体制では、カトリック教がフランスの国教でしたが、革命後の共和制においては、事情が一変しました。1905年、**Loi de séparation des églises et de l'Etat「教会と国家の分離に関する法律」**が、国民議会により採択され、国家と宗教は完全に分離されました。勿論、フランス文化の中では、祝日の設定などをみても、キリスト教の影響はまだ色濃く残っています。しかしながら、国としては、どの宗教に対しても中立な立場を取っています。こうした歴史から見ても、近代フランス社会を理解するためのキーワードは、**laïcité「政教分離」の概念**であると言えるでしょう。**宗教は、あくまでも個人的な選択に過ぎません。**

ところで、フランス社会は昔から多くの移民を受け入れながら発展してきました。20世紀初めから流入が始まるヨーロッパ系の移民たちは、家庭で独自の宗教を守りながら、政教分離原則を尊重して社会に同化してきました。

ところが、1960年代から流入が始まる旧植民地出身のイスラム教徒の行動が、大きな社会問題になっています。1990年代になって、公立学校に通うイスラム教徒の女子生徒が、イスラム原理主義の影響で、スカーフを被ったまま教室で授業を受けようとして問題が起こっていることがマスコミで報道されるようになりました。国はそれを認めるわけにはいきません。2004年に施行された「**宗教シンボル禁止法**」は、公教育の領域から宗教性を排除するというフランス国家の決意を改めて内外に示すものでしたし、2011年から施行された「**ブルカ禁止法**」は、ブルカで顔を覆い隠す行為が治安維持や人々の共生を困難にする恐れがあるという理由から採択されました。つまり、現在のフランスの公共の空間では、個々人の領域である宗教をあからさまに誇示することは制限されていると言うことができます。しかし、一方、ユダヤ教徒の間にも、ユダヤ教の教義に固執する傾向が見られ、アラブ系住民との対立を生んでいます。

「公の場に宗教を持ち込まない」という厳しいルールは、**vivre ensemble「共生」**のための不可欠な条件だと考えられています。最近の世論調査によりますと、フランス人の50%以上が「カトリック」と自認していますが、「無宗教」と答える人が30%以上いて、宗教の影響が弱まってきたことを明らかに示しているでしょう。

現代のフランス社会では、人種や民族の間の差別をなくし、多様性に価値を見出す文化が発展しています。しかし、宗教とは無関係に生きる人々がいる一方で、宗教に執着し、信者間の閉ざされたコミュニティの中で生きようとする人々がいることも事実です。それが、様々な対立を生んでいます。多様な社会に共通の価値を見出すことが、今後の課題だと言えるでしょう。

江戸時代、日本の臨済・曹洞の禅宗は衰退しており、その法式正伝の再興が望まれていました。

しかし江戸幕府は鎖国政策をとっており、唯一開かれていたのは長崎に築造された人工島・出島だけでした。長崎禅界から明朝の新たな禅宗の伝来を願い、当時、福建省黄檗山萬福寺の住職として禅界の重鎮であった隠元禅師を推挙し、三回も中国に渡って来日を懇願しました。すでに六十三歳の高齢だった隠元禅師でしたが、招請に応じて渡海を決心します。

一六五四年、鄭成功が隠元禅師のために厦門より船を仕立て、隠元は弟子二十数名をはじめ、仏師、絵師など職人らも一緒に引き連れて乗船し長崎へ向けて出発、七月五日に長崎港に入港しました。長崎で法を説き、日本の僧侶の質問に丁寧に答え、座禅の教えを広めます。次第に日本中に名声が広がり、その新鮮な明朝禅と徳を慕って日本各地から何百人もの学徒が参集しました。

来日三年後には帰国する予定でしたが、一年滞在した禅師は、京都妙心寺竜溪禅師ら日本側の信奉者たちの働きかけにより上京、第四代将軍徳川家綱に謁を賜り、勅を承けて日本に留まることを決めました。一六六一年、幕府によって京都宇治に広大な土地を与えられ、故郷黄檗山の山号寺号にちなんだ同名の黄檗宗大本山萬福寺を開山、僧俗貴賤多くの人々と交わり、慕われて、永眠の八十一歳までこの地に留まりました。

大本山黄檗山萬福寺が創建されて、多くの人々が隠元禅師の徳望と禅風に触れました。家綱はいち早く隠元に帰依し、後水尾法皇(ごみずのおてんのう)や諸国の大名など帰依者は後を絶ちませんでした。隠元禅師は、黄檗宗僧侶の生活規範を集めた「黄檗清規」を著し、叢林の規則を一変させるなど当時の沈滞していた日本の禅仏教界に大きな刺激を与えました。黄檗宗は、基本的には臨済宗の系統ですが、禅宗には珍しく念仏を使い、中国からの伝来ということで、お経などの用語が全て中国読みになるのが特徴です。隠元の来日により、日本の禅はその厳しい戒律などを見て大きな影響を受け、それぞれがまた新たな自己改革をしていくことになりました。また、隠元がもたらした「明朝禅」は、徳の威儀を持ち、念仏禅を特徴とします。これも当時の禅宗界に多大な影響を及ぼし、臨済、曹洞二宗の復興運動にも刺激を与えました。そのほか、建築や書画など明朝の文化ももたらし、日本に定着しました。

お茶を飲む習慣を持ち込んだ栄西、沢庵漬けの沢庵など、禅僧と食事というのは密接な関係にあります。隠元禅師もまた、さまざまな食文化を伝えています。たとえば、煎茶(釜炒り茶)です。それまで日本では、茶葉をすり潰してお湯に混ぜて飲む抹茶と、茶葉を煮込んで飲む煮茶が主流でした。釜炒り茶は明の時代に中国で新しく考案されたもので、大きな薬缶で沸かしたお湯に、銅釜で炒った茶葉を加えて煮出し、急須に淹れて湯呑に注いで飲みます。黄檗宗では法要の後に参列者に振る舞います。隠元禅師によって、お茶文化が庶民に広がるきっかけが作られました。

また、中国から日本に渡来した中国式の精進料理を改善し、和式とは趣を異にした鮮やかな見栄えの「普茶料理」を広めました。いんげん豆、西瓜、孟宗竹(たけのこ)、れんこん、寒天、落花生、金針菜などの植物、胡麻豆腐、胡麻和え、精進揚げ、けんちん汁などの料理は、普茶料理に生かされるだけでなく、一般的な家庭料理として普及していきました。黄檗宗では煎茶を飲んだ後、四人掛けの机と椅子で、上下の隔てなく親睦をはかりながら大皿料理を分け合って食べます。一人一膳、身分の順に並んで正座で食する日本の食習慣に新風を吹き込みました。ほかに、十行×二十文字の原稿用紙。今日本で広く使われている「明朝体」は中国明の時代の木版印刷の文字で、これも隠元によってもたらされました。飯梆(はんぼう)、木魚、小鼓(しょうこ)、銅磬(どうけい)、銅鑼鼓(どらこ)などのお寺の道具もそうです。文物は美術、医術、伽藍建築、音楽、史学、文学、印刷、煎茶、普茶料理等広汎にわたり、宗教界にとどまらず江戸時代の文化全般に影響を及ぼしました。

宗教・風習にまつわる韓国文化の理解

国際言語文化センター教授 金 泰 虎

東アジア地域の人々は、そもそもは唯一の神ではなく、様々な神々を信じる多神教の文化圏を形成していました。韓国も例外ではなく、多神教の環境のもと外来宗教が伝来されたのです。今日の韓国社会にみる仏教、キリスト教（カトリック・プロテスタント）、そして「儒教の国」と言われるほど国民の意識に定着している儒教の教えも外国から流入されたものです。多神教の信仰や伝統によるものなのか、韓国を含む東アジア地域は他の地域と比べて宗教的価値観による衝突と摩擦が少なく、宗教や宗派による対立もない寛容の姿勢が強いです。

韓国統計庁の「宗教活動参与人口」（2003年）統計資料によると、韓国人の15歳以上の総人口における53.9%が宗教をもっており、その宗教人口の中で47%は仏教、38.8%はプロテスタント、13.7%はカトリック、0.7%が儒教です。ちなみに現在、韓国の総人口は約五千万人です。

そこで、韓国が「儒教の国」と言われる割には、驚くほど儒教の信奉者数が少ないこと、プロテスタントとカトリックを合わせたキリスト教信者が52.5%で、仏教信者数を上回ることが目につきます。そして、韓国では世界3大宗教の中で、とりわけキリスト教や仏教に関わる、2つのイエス誕生日（クリスマス:12月25日）と釈迦誕生日（陰暦4月8日）が「休みの日（公休日）」として指定されている特徴もあります。

仏教はコリア半島の三国時代に伝播されてから統一新羅時代や高麗時代（918～1392年）を経て、煌びやかな仏教文化を花咲かせました。王朝が代わり、朝鮮時代（1392～1897年）になると、いわゆる「崇儒抑仏」を掲げ、儒教を崇拝して仏教を抑圧する、つまり儒教を国家の統治理念にしたわけです。しかし、王室や婦女の間では、依然として仏教を信奉し、仏教の脈絡は絶えず受け継がれました。

一方、キリスト教は、コリア半島にカトリックが伝わって200余年、そしてプロテスタントは100余年前になります。仏教や儒教より伝来の歴史の短いキリスト教が、今日の韓国で宗教人口の半数以上を占める理由は何でしょうか。

それは儒教の「仁」と、キリスト教の「隣人愛」という両宗教の要の思想が通じ合う側面があり、儒教精神の強い韓国人にとってキリスト教は受け入れられやすいためだと考えます。つまり、孔子が「仁」とは「人を愛すること」（『論語』の「顔淵篇」）と述べていることから「仁」と「隣人愛」が通じているのは明らかです。

しかし、儒教とキリスト教の間には根本的な相違が存在しており、それは祖先崇拝と唯一の神（イエス）の崇拝です。儒教では祖先崇拝をすることによって「祭祀（法事）」が重んじられ、代々に亘り祭祀を担っていく男子を産むのが女性の至上命題のような習慣も生まれました。今の韓国社会においても祭祀は重視されていますが、男子出産の執着心は和らいできています。一方、キリスト教は唯一の神だけを信じるため、祖先を祀る祭祀は偶像崇拝と見なされます。例えば、朝鮮時代のカトリック伝来過程で4回の大弾圧（迫害）が行われましたが、中でも「辛亥迫害」（1791年）は死者の位牌を燃やして祭祀を行わなかったこと（唯一の神の尊重派）に対する朝鮮の支配者（祖先崇拝の重視派）による弾圧でした。当時、カトリックの教皇は大弾圧を真摯に重く受け止め、朝鮮だけでは祭祀を認めました。しかし、プロテスタントでは未だに祭祀は偶像崇拝と見なし、信者の家庭で祭祀は行いません。

このように、今の韓国では原始時代以来の多神教に仏教、儒教、カトリック・プロテスタント、そして他の宗教も受け入れてきました。そこで儒教信者が「山神祭」を行ったり、キリスト教信者が儒教式の喪服を着たり、仏教信者が儒教の精神に基づく行動を取ったりするなど、各宗教には様々な融合が見られます。特に、儒教を宗教として信じる人はほんの僅かですが、生活規範的な要素が強い儒教の教えは宗教間の壁を超えて、現在の韓国人の日常生活に根強く残っています。

ムスリム（イスラム教徒）の異文化を日本人が理解できているかどうかはまだまだこれからの課題でしょう。外国人観光客増加に伴ってムスリムも増えつつあり、筆者がこれまでにムスリムの学生と直接かかわった経験を通して感じたことを述べることで、異文化理解の参考になればと思います。ムスリムが日本に来ていちばん問題となるのは食べ物と礼拝でしょう。多くの人がアレルギーや好き嫌いで食べ物を選ぶことはあっても、宗教的理由でそうすることは少ないでしょうから、ムスリムの厳格なこだわりには鈍感なものです。彼らはイスラム法において違法、つまりハラームの食品は口にしません。食堂や宴会で彼らに豚肉を出さなければよいだろうと思いきや、そう単純ではないのです。日本でのハラームの食品にはどんなものがあるか一緒に調べると彼らにとっても感謝されました。なぜなら彼らはいつ何時ハラームの食品を食べてしまうか不安だったからです。

例えば、ムスリムにパンを食べさせるのは大丈夫でしょうか？実は盲点があります。パンの袋に記載されている材料名によく「ショートニング」が含まれています。ショートニングとは、ラード（豚脂）や安価な植物性油脂を原材料とする油脂の混合体らしいのですが、あまり知られない材料に豚脂が含まれているから厄介です。お菓子といえども、ショートニングが使われているかどうかはメーカーや銘柄によってまちまちなのです。ラーメンにしても豚骨ならアウトなのはまだ分かりやすいですが、それでもうっかりするとムスリムに提供してしまいそうですね。

上級編：ファーストフードのビーフやチキンなら大丈夫でしょうか？いえ、合法的に定められた屠殺法によらない肉なので、豚肉でなくともハラームです。さらに、植物油だけで揚げたポテトでも、ポークと同じフライヤーで揚げている店のものはハラームになります。ハイチュウは大丈夫？アウトです。なぜなら、ハラームの牛骨から抽出するゼラチンが入っているからです。ではお寿司は？アウトの可能性有りです。なぜなら、多くの醤油には製造工程でアルコールが使用されるからです。なかなかそこまで気がつく人は少ないでしょう。アルコールは基本的に禁止です。アルコールを化学的に分解して製造する酢は微妙なところでしょう。とはいっても、実はムスリムにも地域差・個人差があって、あまり気にしない人もいます。

次に、足を洗うという習慣について述べます。右写真は、ムスリムが洗面台に足を上げて洗うので、警告する掲示です。たしかに日本人にとっては、手を洗う場所で足を洗われてはいい感じはしないものでしょう。そこで、ムスリムのために足を洗うための場所（結果的には礼拝をする場所にもなりましたが）を前任校で頼んだことがあります。ただし宗教のために設備を作りにくいので、多文化交流室という名目でしたが、そこに排水溝と低めの蛇口を作ってもらい、椅子に座って足を洗うことができるようになりました。その時はとても喜ばれました。礼拝と足を洗う場所がムスリムにとって実は深刻な問題だったのです。さて足を洗う水道から出る水はただの水です。あとで申し訳なさそうに言われたのは温水も欲しかったということでした。敬虔なムスリムといえども、冬場はやはり水で足を洗うと冷たいのです。これは異文化ではなく人類普遍の感覚ですね。異文化を意識するあまり見落とす盲点もあるということです。ところで、よく考えると、1日5回の礼拝のたびに足を洗うとはなんと清潔なのでしょう。手は何度も洗うとしても、足は一日そのままでしょうから、むしろ足が汚くて臭いのは我々ではないでしょうか（時に水虫になったり）。異文化とは盲点に気づかせてくれます。私もできれば靴下を脱いで足をすっきりときれいに洗いたいものです。



外国語科目・日本語科目 優秀賞制度のお知らせ

国際言語文化センターでは、「外国語科目」「日本語科目」に優秀な成績を修めた学生（留学生）に対して、『優秀賞』を授与しています。

対象となる学生は、学部学生にあっては、3年間以上在学し、3年次終了までに中級・上級の外国語科目を一定以上修得した者、留学生にあっては、Year in Konan Programで留学し、秋学期・春学期に一定の単位を修得し、かつ、成績が一定以上である者ということになっています。

優秀賞を目指して1年次より外国語科目の学習をがんばってください。

1. 趣旨及び目的

学生に対して、外国語学習を奨励し、学生の外国語学習意欲及び外国語のレベルを高めるために、外国語科目として総合的に優秀な成績を取得した者を表彰する。

留学生の日本語学習についても、同様とする。

2. 選考対象者

選考の対象となる者は、次の①に該当するものとする。

- ① 本大学に3年間以上在学し、3年次終了までに次の単位をすべて修得している者。

中級英語 2科目（8単位）以上

上級英語 1科目（4単位）以上

中級の第2又は第3外国語 2科目（8単位）以上

上級の第2又は第3外国語 1科目（4単位）以上

海外語学講座Ⅰは英語の中級科目として、海外語学講座Ⅱは第2又は第3外国語の中級科目として取り扱う。

3. 選考対象科目

3年次終了までに修得したすべての外国語科目（基礎外国語科目を除く。）を対象とする。

4. 選考基準

秀を7点、優を5点、良を3点、可を1点とし（ただし、2006年度以前の入学生が、選考対象者に含まれる場合は、秀を5点とする。）、3年次終了までに修得したすべての外国語科目（基礎外国語科目を除く。）の合計点により、上位30名を表彰する。なお、どの言語を第2外国語として履修したかは考慮しない。

5. 優秀賞制度選考者の発表

選考された者に対する表彰は6月に行なう予定である。

6. 補則

日本語科目については、別に定める。

各種語学検定試験の受検料補助について

本学学部生が、各種語学検定試験を受検する場合、父母の会から受検料の補助を受けることができます。

（対象となる語学検定試験）

【英語】TOEFL / TOEIC 【ドイツ語】ドイツ語技能検定試験 / ゲーテ・インスティトゥート 【フランス語】実用フランス語技能検定試験 / DELF・DALF / TCF 【中国語】中国語検定試験 / HSK(漢語水平考試) / TECC(中国語コミュニケーション能力検定) 【韓国語】「ハングル」能力検定試験 / 韓国語能力試験 / 世界韓国語認証試験 (KLPT)

（補助金額）

3,000円を限度に受検料の半額を補助

（申請回数）

一年度内一人2回限り

（申請手続）

補助希望者（本学学部生）は、受験日までに父母の会事務局（3号館1階学生部内）に

＊「学部生語学検定試験受検料補助支給願」を提出し、承認を得てください。

なお、補助を受けた学部生は、検定試験の結果について、父母の会事務局に報告する必要があります。

＊大学学生部ホームページの「父母の会支援」に載っている申請用紙（支給願）をプリントアウトしてください。

2015 年度 甲南大学海外語学講座Ⅰ・Ⅱ・Ⅲのご案内

夏休み・春休みを利用して約1ヶ月間、下記の協定大学で外国語を集中的に学習する短期留学の機会を設けています。

※海外語学講座Ⅲは約2週間

— 夏期 —

海外語学講座Ⅰ（英語講座）

- ◆カナダ／ビクトリア大学
- ◆イギリス／リーズ大学
- ◆アメリカ／①ドミニカン大学 ELS ランゲージセンター

海外語学講座Ⅱ

- ◆ドイツ／ライプツィヒ大学 ヘルダー・インスティトゥート
- ◆フランス／トゥール大学 トウレーヌ語学院
- ◆中国／北京郵電大学（北京）
- ◆韓国／漢陽大学



カリフォルニア大学サンディエゴ校（アメリカ）



ビクトリア大学（カナダ）

— 春期 —

海外語学講座Ⅰ（英語講座）

- ◆カナダ／ブリティッシュコロンビア大学
- ◆オーストラリア／クイーンズランド大学
- ◆アメリカ／カリフォルニア大学サンディエゴ校

海外語学講座Ⅲ

- ◆ドイツ／ゲーテ・インスティトゥート ドレスデン校
- ◆フランス／ランブイエ国際学院
- ◆韓国／東義大学

【受講資格】 勉学意欲のある学部学生

- 海外語学講座Ⅰ（英語講座）……………1年次以上
- 海外語学講座Ⅱ・Ⅲ……次のいずれかに該当する者
 - ・該当する言語の基礎科目を履修中、または、すでに履修した者
 - ・該当する言語の第3外国語「基礎科目免除テスト」に合格した者



東義大学
（韓国）



北京郵電大学（中国）

【単位認定】 本講座において取得した成績は、大学で評価し、以下のとおり単位認定します。

海外語学講座Ⅰ・Ⅱ…4単位 海外語学講座Ⅲ…2単位

※但し、海外語学講座Ⅲは2013年度以降の入学者のみ単位認定します。

【費用】 ※夏期は2014年度実績、春期は2013年度実績です。（費用は参加人数、為替レートにより変動します。）

<夏期>

- ・カナダ（ビクトリア大学）約70万円（参加人数16名）
 - ・イギリス（リーズ大学）約66万円（参加人数5名）
 - ・アメリカ（ドミニカン大学ELSランゲージセンター）
約66.5万円（参加人数9名）
 - ・ドイツ（ヘルダー・インスティトゥート）約45万円（参加人数7名）
 - ・フランス（トゥレーヌ語学院）約56万円（参加人数4名）
 - ・中国（北京郵電大学）約18万円（参加人数6名）
 - ・韓国（漢陽大学）約25.5万円（参加人数5名）
- ※但し、中国・ドイツ・フランスは2013年度実施されなかったため
2012年度の実績となります。



リーズ大学（イギリス）

<春期>

- ・アメリカ（カリフォルニア大学）約58.5万円（参加人数17名）
- ・カナダ（ブリティッシュコロンビア大学）約54万円（参加人数8名）
- ・オーストラリア（クイーンズランド大学）約51万円（参加人数20名）
- ・ドイツ（ゲーテ・インスティトゥート ドレスデン校）
約34.5万円（参加人数2名）
- ・フランス（ランブイエ国際学院）約31.5万円（参加人数1名）

※基本的に、授業料、宿泊費、食費、フィールドトリップ費、航空運賃、研修旅行費用、講座参加費等を含む。但し、コースにより一部異なります。

※上記は実際にかかった費用であり、講座申込時の振込金額とは異なります。為替差額等の精算を講座終了時に行います。



ゲーテ・インスティトゥート ドレスデン校（ドイツ）

☆経験豊かなホストファミリー
宅でホームステイをしながら
外国語を学んでみませんか？



ランブイエ国際学院（フランス）

※詳しくはチラシ・掲示・My KONAN でお知らせしますが、例年以下のような日程となります。

【申込期間】 夏期海外語学講座：2015年4月～5月

春期海外語学講座：2015年10月

【申込方法】 参加申込書（国際言語文化センター事務室の窓口で入手）に必要事項を記入し、申込期間中に国際言語文化センターへ申し込んでください。各コースとも先着順に受け付け、定員（講座Ⅰ…20名、講座Ⅱ・Ⅲ…15名）になり次第締め切ります。

【注意事項】 最少催行人数に満たない場合は、原則として講座を中止します。

【説明会】 夏期海外語学講座：2015年4月

春期海外語学講座：2015年9～10月

【問い合わせ先】 甲南大学国際言語文化センター事務室（6号館3階）



6号館3階「iCALL教室」のご案内

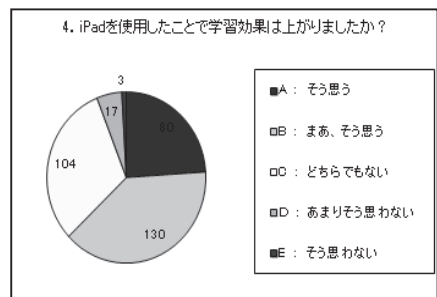
国際言語文化センターでは、2012年4月から6号館3階にiPadを活用した「iCALL教室」を設置し活用しています。日本で初めて「外国語教育」に特化した授業でiPadを活用したCALLシステムを構築し、その立体的空間をiCALL教室と名付けました。iCALLのiには、iPad, instructive, interactive という意味が含まれ、先進的な教育方法で語学の4技能（読む・書く・聞く・話す）の養成を行っています。その一端を紹介しましょう。

- 1) 受講者は自分のレベルに合ったリスニング教材を選択して学習できる。
- 2) iPadで録音した自分の音声ファイルを簡単に教員に提出できる。
- 3) 前に出て答えを書くのではなく、iPadの画面に答えを書き、皆で確認・共有する。
- 4) 3面に配置したプロジェクターを利用し、3面にそれぞれ別の画面を映し出せる。
- 5) 可動式の机と椅子を使い、プロジェクト型学習やグループ学習などができる。

こうしたCALLの機能に加えて、iPad独自のアプリを外国語教育に活用できるのがiCALL教室の利点です。iPadを活用した授業を受講した学生の生の声を聞いてみましょう。

右のグラフは2014年前期のアンケートの一部です。

約63%の受講者が「iPadを使用したことで、学習効果が上がった」と答えています。受講者のコメントも紹介しましょう。「授業がとても楽しい」「iPadを使えて嬉しい」「自分のペースで勉強できる」「機能的で便利」「わからないことはWebですぐ調べられる」「皆に見せるので、下手な答えは書けないと思って頑張った」「先生が学習に役立つアプリを教えてくれる」など。マイナス評価のコメントは「机が狭い」「機器の操作が苦手」「iPadが反応しないときがある」など。



★ iPadを利用したiCALL教室は、631教室・632教室・633教室です。中級・上級の授業に関しては、受講者の皆さんが選択するので、iPadを使った授業を受講したい人は、シラバスと使用教室を確認してみてください。

